

平成15年の刑法犯の認知件数は279万136件、検挙件数は64万8,319件、検挙人員は37万9,602人となっている。

年平均約15万件のペースで増加し、平成8年以降7年連続戦後最多を記録していた認知件数は、前年に比べ6万3,603件(2.2%)減少し、増加傾向に歯止めがかかっている。

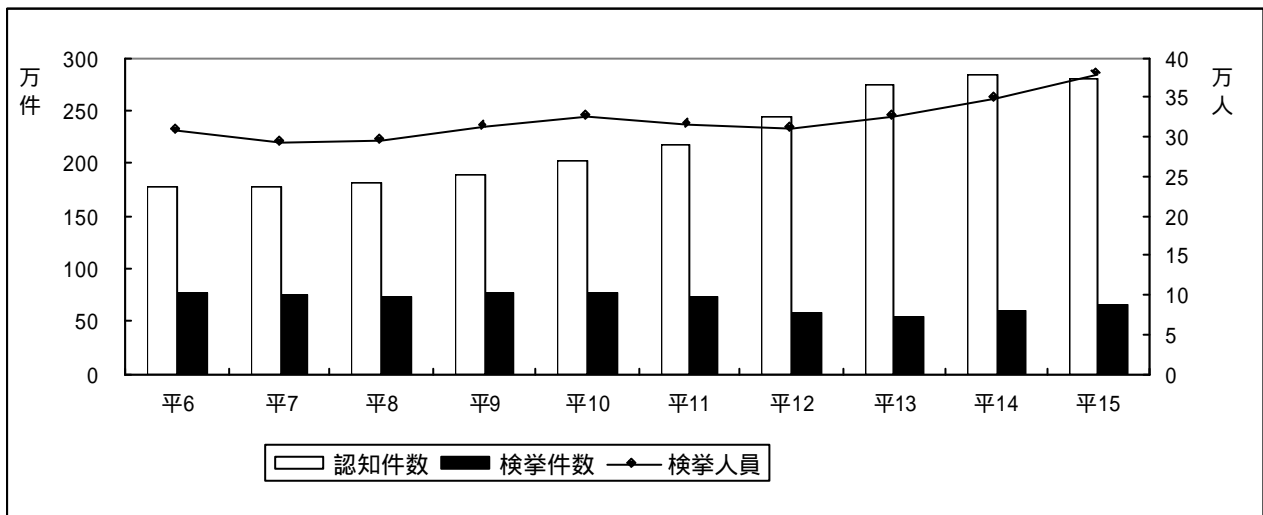
検挙件数は、平成11年以降減少していたが、平成14年には増加に転じており、その傾向は今年も続き、前年に比べ5万5,960件(9.4%)増加した。

ここ10年、30万人前後で推移している検挙人員は、平成13年以降増加しており、平成15年は前年に比べ3万2,044人(9.2%)増加した。

平成13年には19.8%と戦後最低を記録していた検挙率は、平成14年以降回復のきざしを見せ、平成15年は23.2%と、前年に比べ2.4ポイント上昇した(図表1-1)。

罪種別に見ると、全刑法犯の8割を占めている窃盗犯の認知件数が前年に比べ14万1,644件(6.0%)減少しており、この減少が刑法犯認知件数の減少の大きな要因となっている(図表1-2)。

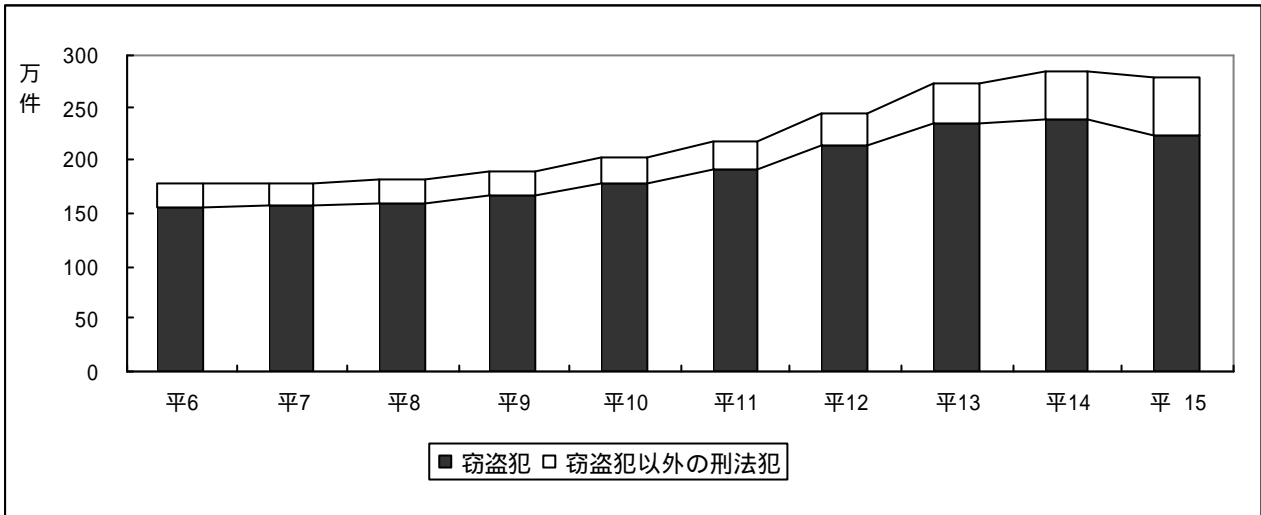
図表1-1 刑法犯の認知・検挙状況の推移



年次	平6	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15
認知件数	1,784,432	1,782,944	1,812,119	1,899,564	2,033,546	2,165,626	2,443,470	2,735,612	2,853,739	2,790,136
検挙件数	767,844	753,174	735,881	759,609	772,282	731,284	576,771	542,115	592,359	648,319
検挙人員	307,965	293,252	295,584	313,573	324,263	315,355	309,649	325,292	347,558	379,602
検挙率	43.0	42.2	40.6	40.0	38.0	33.8	23.6	19.8	20.8	23.2

注：道路上の交通事故に係る業務上(重)過失致死傷及び危険運転致死傷を除く。

図表 1 - 2 刑法犯（うち窃盗犯）認知件数の推移



年次	平 6	平 7	平 8	平 9	平10	平11	平12	平13	平14	平15
全刑法犯	1,784,432	1,782,944	1,812,119	1,899,564	2,033,546	2,165,626	2,443,470	2,735,612	2,853,739	2,790,136
うち窃盗	1,557,738	1,570,492	1,588,698	1,665,543	1,789,049	1,910,393	2,131,164	2,340,511	2,377,488	2,235,844
割合	87.3	88.1	87.7	87.7	88.0	88.2	87.2	85.6	83.3	80.1